

外部評価シート【事務事業評価編】における評価基準

外部評価の考え方

市が実施した事務事業に対する評価が適切に行われているかを評価します。  
(事業自体を評価するものではありません。)

①必要性、②目標達成度、③実施内容・方法、④公平性の各項目の評価、⑥総合評価に対する評価  
各評価項目の市が実施した評価が適切であるか評価します。

評価項目	評価の視点	点数	評価基準
①必要性 (市が関与する必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民からの要望を的確に捉え評価しているか。</li> <li>・社会情勢の変化を的確に捉え評価しているか。</li> <li>・利用者や対象者の減少などを的確に捉え評価しているか。</li> <li>・市が事業を廃止・休止した場合の市民に与える影響を的確に捉え評価しているか。</li> <li>・市民の生活水準の維持・向上への寄与を的確に捉え評価しているか。</li> </ul>	5点	最適な評価
②目標達成度 (平成28年度の目標達成度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的(目標)を的確に捉え評価しているか。</li> <li>・事業成果・効果を的確に判断し評価しているか。</li> <li>・市民満足度を的確に捉え評価しているか。</li> <li>・適切な指標を設定し、指標の達成度を的確に捉え評価しているか。</li> </ul>	4点	適切な評価
③実施内容・方法 (成果向上・コスト削減のための見直しの余地)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率化の余地を的確に捉え評価しているか。</li> <li>・費用対効果を的確に捉え評価しているか。</li> <li>・事業の担い手や進め方等の見直しの余地を的確に捉え評価しているか。</li> <li>・進行状況を的確に捉え評価しているか。</li> </ul>	3点	概ね適切な評価
④公平性 (受益者負担の見直しの余地)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者(受益者)の偏りを的確に捉え評価しているか。</li> <li>・受益者負担の公平性を的確に捉え評価しているか。</li> </ul>	2点	やや適切でない評価
		1点	適切でない評価

評価項目	評価の視点
⑥総合評価 (最終目標に対する進捗状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「事業目的」、「事業の実施状況(見込み)」、「活動指標・成果指標」、「計画期間を通じたの課題と対応策」を踏まえ、最終目標の達成に向けた進捗状況が適切に評価されているか。</li> </ul>

点数	評価基準
5点	最適な評価
4点	適切な評価
3点	概ね適切な評価
2点	やや適切でない評価
1点	適切でない評価

# 評価例

## 例1

〇〇事業

①必要性の評価

	A：非常に高い	B：高い	C：ある程度認められる
市の評価			○
委員の評価			○

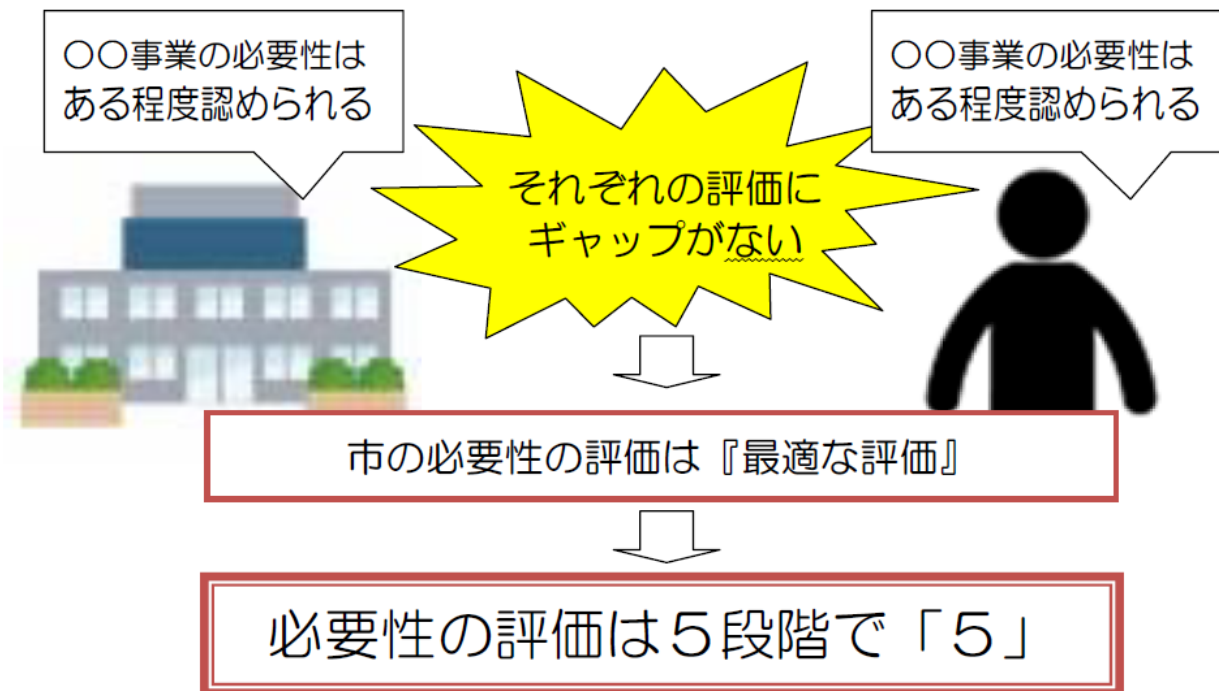
〇〇事業の必要性について、市は「C：ある程度認められる」と評価し、委員も「C：ある程度認められる」と評価した。

⇒市が実施した評価は、「最適な評価」であるため5点

<イメージ>

市の評価

委員の評価



## 例2

〇〇事業

①必要性の評価

	A：非常に高い	B：高い	C：ある程度認められる
市の評価			○
委員の評価	○		

〇〇事業の必要性について、市は「C：ある程度認められる」と評価し、委員も「A：非常に高い」と評価した。

⇒市が実施した評価は、「適切でない評価」であるため1点

<イメージ>

